

MSG7 命のパン	
背景	ヨハネ 6:4 さて、ユダヤ人の祭りである過越が近づいていた。 ヨハネ 6:26 …あなたがたがわたしを捜し求めるのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからである。 ヨハネ 6:27 朽ちる食物のためにではなく、永遠の命に至る永存する食物のために働きなさい
負担	アモス 8:11 見よ、その日が来ると、主エホバは告げられる、その時、わたしは飢きんをこの地に送る。パンの飢きんではなく、水に渴くのもなく、エホバの言葉を聞くことの飢きんである。
良い食欲	エレミヤ 15:16 あなたの言葉が見いだされて、わたしはそれを食べました。…エホバ、万軍の神よ、
正しい味わい	使徒 2:42 彼らは使徒たちの教えと交わりを堅く持ち続け、 I テモテ 1:3-4 …ある人たちが(神のエコノミーと)異なる事を教えたり……することがないように命じなさい。

命のパン 主要な題目とみ言葉	
命のパン	ヨハネ 6:48 わたしは命のパンである
血と肉	ヨハネ 6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を持つ
霊と言葉	ヨハネ 6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない、わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である。



I	ヨハネ第 6 章の七つの重要な点の順序	A-B	①肉体となり命のパンとなって②わたしたちに食べさせる
		C	③死を通してわたしたちに食べ飲みさせる
		D-E	④復活してわたしたちの中に内住し⑤そしてわたしたちを彼のゆえに生きさせる
		F-G	⑥命を与える霊と成り⑦命の言葉において具体化される
II	主イエスが天から地に下って来た主要な目的	彼ご自身を食物(パン)としてわたしたちに食べさせ、わたしたちに消化し、わたしたちの構成となります	
III	主イエスが命のパンであることについて詳細に語る	A-C	命のパン、まことのパン、神のパン、天のパン、生けるパン
		D-F	パンは肉となり、人に命を持たせます
		G	主を食べる者も、主のゆえに生きます
IV	キリストが命を与える霊と言葉になった	A-E	キリストは命を与える霊と言葉になった
		F-G	命を与える霊は言葉の中に具体化されています

命のパン キリストが経られた六つの段階(ヨハネ第 6 章)		
肉体と成る	32-51 前	6:51 わたしは天から下って来た生けるパンである
ほふられる	51 後-55	6:54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を持つ
内住するために復活する	56-59	6:56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしの中に住み、わたしも彼の中に住む。
昇天	60-62	6:62 それでは、人の子が前にいた所へ昇るのを、あなたがたが見たならどうなのか？
命を与える霊となる	63-65	6:63 命を与えるのはその霊である……わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である。
命の言葉において具体化される	66-71	6:68 シモン・ペテロが彼に答えた、「主よ…あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。」

ヨハネ第 6 章の七つの重要な点の順序

I. わたしたちはヨハネ第 6 章を注意深く読むなら、この章について深い印象を持ち、**七つの極めて重要な点の順序**に注意を払うべきです：

*①**肉体と成り、命のパンとなって、②わたしたちに食べさせる**

A. 主は命のパンです——ヨハネ 6:35, 48。

B. 主はご自身の命のパンを与えて、わたしたちに食べさせます——51 節。

*③**十字架の死を通して、わたしたちに食べ飲みさせる**

C. 主はまたご自身の血を与えて、わたしたちに飲ませます——53 節。

*④**復活し、昇天し、内住を通して、⑤わたしたちに彼のゆえに生きさせる**

D. 主は死なれただけでなく、復活しました——56 節。

E. キリストがわたしたちの中に生きていますので、わたしたちは彼のゆえに生き、神の御前に生きます——57 節。

*⑥**命を与える霊となり、**

F. 彼の肉体ではなく、彼の霊がわたしたちに命と命の供給を与えます——63 節前半。

A- ⑦**命の言葉の中に具体化される**

G. その霊は主の語る言葉の中にあります。彼の言葉は霊であり、命です——63 節後半。

主イエスが天から地に下って来た形、そして身分と目的

*形式 — 主イエスは**食物の形をとって天から地に下って来られた**

*身分— 主の身分は**命のパン**である

*目的— 一つの中心的事柄、すなわち、**ご自身を食物(命のパン)としてわたしたちに与え、霊的な養いとして彼を食べさせ、消化させ、構成とならせるためです。**

II. 主イエスが天から地に下って来た**主要な目的は、一つの中心的事柄、すなわち、ご自身を食物(命のパン)として与えることを成就するためでした。それは彼が霊的養いとしてわたしたちによって食べられ、わたしたちによって消化されて、わたしたちの構成となることができるためでした——ヨハネ 6:50-51。**

主イエスが命のパンであることについて詳細に語る

III. ヨハネ第 6 章は、**主イエスが命のパンであることについて詳細に語っています**。彼は「わたしは命のパンである」と宣言しました——ヨハネ 6:48:

A-C: 命のパンとしてキリストの五つの特徴

***命のパン**

A. ヨハネ第 6 章の多くの節は、わたしたちの経験と享受のために、キリストが**命のパン**であることを啓示しています——ヨハネ 6:27, 32-35, 47-58, 63 前半, 68 後半：

1. ヨハネ第 6 章全体の最も重要な点は、**キリストがわたしたちの食物、命のパン**であるということです——ヨハネ 6:35, 48。

2. 主を食べることは**一度限りの事柄ではありません**。それどころか、わたしたちは**且ごとに主と接触し、主を食べる必要があります**。なぜなら、**主は食べることでできる方**であるからです——50 節。

3. わたしたちは**霊を活用**して彼から**養い**を得て、彼を受け入れ、彼を**消化**し、彼を**経験**し、彼を**享受**し、そして**瞬間ごとに彼を適用する**必要があります——56-57 節。

4. わたしたちは**みな一つの事柄、すなわち、キリストを食べ**て彼から**食べたものによって生きる**ことに集中すべきです——54 節。

B. 「**朽ちる食物のためにではなく、永遠の命に至る永存する食物のために働きなさい**。これこそ、人の子があなたがたに与えるものである」——ヨハネ 6:27：

1. 永遠の命は**神聖な命、神の非受造の命**であり、時間に関して**永続する**だけでなく、性質において**永遠**であり、**神聖**です——3:15。

2. 永遠の命に至る**永存する食物**は、わたしたちに**供給**して、わたしたちを**永遠の命の中へともたらす**ことができます——6:27。

*まことのパン、神のパン、天のパン、生けるパン

C. 「わたしの父が、天からのまことのパンを与えてくださるのである。なぜなら、神のパンとは、天から下って来て、世の人に命を与える者だからである」——ヨハネ 6:32-33:

1. 霊的な事柄だけが実際です。「その霊は実際である」——Iヨハネ 5:6 後半。
2. まことのパンとして、キリストは真理のパン、実際のパンです。キリストはまことであり、実際です。
3. わたしたちはみな、命のまことのパンとしてのキリストが神によって遣わされて、わたしたちに永遠の命をもたらすことを必要とするという事実¹に深く印象づけられる必要があります。
4. ヨハネ第6章33節の「神のパン」は、32節の「まことのパン」です。
5. 天から下って来たパンとして、キリストは天のパンであり、神のパンとして、彼は神に属しています。彼は神によって遣わされ、神と共におられました——33節。
6. わたしたちがこのパンを食べ、消化するとき、それはわたしたちの構成となり、そしてわたしたちは主に結合され、ミングリングされて一となります——Iコリント 6:17。
7. 天から下って来た生けるパンを食べる者はだれでも、永遠に生きています——ヨハネ 6:50-51 前半。

主の肉を食べ、主の血を飲む者は、永遠の命を持ちます

*パンが肉と血になったことは、彼の死がわたしたちに命を得させることを指しています

D. 51節後半で主イエスは言いました、「わたしが与えるパンはわたしの肉であり、世の人の命のために与えるものである」:

1. この時点で、パンは肉となります。
2. 主はご自身の体、すなわち、ご自身の肉を与え、わたしたちのために死なれました。それはわたしたちが命を持つためでした。

*食べ飲みすることは、信じ、受け入れて命を得ることです

E. 「まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。人の子の肉を食べ、彼の血を飲むのでなければ、あなたがたの内に命はない」——ヨハネ 6:53:

1. 血と肉の分離は、死を示します。
2. ここで主はご自身の死、すなわち、彼が殺されることを明確に示しました。
3. 彼はわたしたちのためにご自身の体を与え、ご自身の血を流しました。それはわたしたちが永遠の命を持つためです:
 - a. 彼の肉を食べることは、彼がわたしたちのためにご自身の体を与えて成し遂げたすべてのことを、信仰によって受け入れることです。
 - b. 彼の血を飲むことは、彼がわたしたちのためにご自身の血を流した時に完成したすべてのことを、信仰によって受け入れることです。
4. 彼の肉を食べ、彼の血を飲むことは、十字架上でわたしたちのために行なった事を信じることによって、彼の贖いにおいて、命また命の供給として彼を受け入れることです。
5. 53節と47節を比較することによって、わたしたちが見るのは、主の肉を食べ、主の血を飲むことは、彼を信じることであるということです。なぜなら、信じること、あるいは中へと信じることは、受け入れることであるからです——1:12。

主を食べる者は、命を持ち、主のゆえに生きる

*主を食べる者は命を持つ

F. 「わたしの肉はまことの食物であり、わたしの血はまことの飲み物である」——ヨハネ 6:55:

1. わたしたちが人の子の肉を食べ彼の血を飲むことをしないなら、わたしたちの内側に永遠の命はありません。
2. わたしたちは彼を食べ彼を飲むなら、彼のゆえに命を持ちます。

*主を食べる者は主のゆえに生きる

G. 全聖書において最も強く、最も奇妙な文はヨハネ第6章57節です。「生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる」:

1. 食べることは、食物をわたしたちの中へと取り入れて、それがわたしたちの体の中

へと有機的に吸収されることです。

2. 主イエスを食べることは、彼をわたしたちの中へと受け入れて、再生された新しい人が、彼を命の方法で吸収することです：
 - a. そうすればわたしたちは、わたしたちが受け入れる方によって生きています。
 - b. このようにして、復活した方である彼は、わたしたちの中で生きています——14:19-20。

キリストが命を与える霊と言葉になった

IV. 「命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である」——ヨハネ 6:63:

命のパンは人に命を与える霊です

*キリストは命を与える霊と言になった

A. ヨハネ第6章の最後の部分は、キリストが命を与える霊と言になったことについての区分です。

*霊の中でその霊(霊のキリスト)と接触して、

B. キリストはその霊であるので、わたしたちは内側でその霊としての彼と接触することができます——I コリント 15:45。

*わたしたちはその霊からの養いを得ます。

C. 彼は命を与える霊であるので、わたしたちは彼によって養いを得て、彼をわたしたちの食物として吸収することができます。

*そして命の供給としての主を受け入れ、養われます

D. わたしたちは、命のパンとしての、命の供給としての主イエスを受け入れて、養われるために、彼が命を与える霊であることと、この霊が御言の中に具体化されていることとを見る必要があります——ヨハネ 6:63。

*今、復活の中で、主はその霊です

E. 主がわたしたちに与えるものは、命を与えるその霊です。この霊は復活における主ご自身です——I コリント 15:45。

言葉は命の霊の具体化であり、また命のパンを受け入れる手段です

*そしてこの霊は、彼の言葉(レーマ)の中に具体化されています。日ごとにわたしたちは主に来て、彼の言葉(レーマ)に聞き、彼の言葉の中の霊に触れる必要があります。

F. ヨハネ第6章63節で、「言葉」はその霊に続きます：

1. 主は命を与えるために、ご自身がその霊と成ったことを示しました。
2. それから彼は、ご自身が語る言葉は霊であり、命であると言いました。これは、彼の語る言葉が命を与える霊の具体化であることを示します——63節。
3. わたしたちは御言の中のその霊に触れないなら、命を受け入れることはできません。
4. 日ごとにわたしたちは主に来て、御言の中のその霊としての彼に触れる必要があります。わたしたちはこのことを行なうなら、命のパンとしてのキリストから養いを得ます——35節。

*言葉は、命のパンを受け入れる手段です

——わたしたちは霊を用い、活用し、彼の命の言葉を受け取る(主の御名を呼び求め、主の言葉を祈り読み、思い巡らす)必要があります。これが命をパンを受け取る道です

G. ヨハネ第6章は命の言葉をもって締めくくっています。命の言葉は、わたしたちが命のパンとしての主を受け入れる手段です——ヨハネ 6:63：

1. わたしたちは御言を受け入れるなら、その霊を持ち、内側でその霊を持っているなら、キリストを命の内なる供給として持ちます。
2. どうかわたしたちがみな、わたしたちの必要がわたしたちの命の供給としてのキリストであることを認識し、それから御言の中に具体化されている命を与える霊としての彼と日ごとに接触しますように。

【まとめ】 命のパンを享受し、命のパンで構成され、そして命のパンを供給する

命のパンを享受する	好い食欲と正しい味わいを持つ
命のパンで構成される	食べ、飲み、消化し、吸収し、構成される
命のパンを供給する	命の言葉を宣べ伝え、その霊を供給する

第7週 命のパン

日	区分	流れ	主題	要点
D1	食物 (パン)	過程 目的	主が地上に来られて経られた手 順、身分と目的	ヨハネ第 6 章の七つの重要な点の順序 主が地上に来られた形式、身分、目的
D2		特徴	命のパンとしてのキリストの五つ の特徴	命のパン まことのパン、神のパン、天のパン、生けるパン
D3	肉と血	命	主の肉を食べ、主の血を飲み者は 命を持つ	パンが肉と血となったのは、彼の死と、わたしたち が命を得ることを指しています。 彼を食べ、飲みすることは、わたしたちの命としての 主の中へと信じることです
D4		生きる	主の肉を食べ、主の血を飲むもの は主のゆえに生きます	彼を食べ、彼を飲み、彼のゆえに命を得る 主を食べる者は、主のゆえに生きる
D5	霊と言葉	霊	命のパンは人に命を与える霊です	わたしたちの食物として命を与える霊を受け取る 主の御名を呼び求めることで命の霊を受け取る
D6		言葉	命のパンは言葉の中に具体化され た命を与える霊です	言葉は命を与える霊の具体化です 言葉はわたしたちが命のパンを受け取る手段です